

黒部市財政健全化プラン（案）

平成 19 年 3 月策定

平成 20 年 5 月改訂

黒部市行政改革推進本部

第 1 財政健全化プランの性格

社会経済情勢の変化や、高度化、多様化する行政需要に的確に responding していくためには、安定した財政基盤を構築することが急務である。また、総合振興計画の堅実な実行を図るためには、収支均衡のとれた持続可能な財政運営を進めなくてはならない。

そこで、『財政健全化プラン』は、特に財政面の効果を重視して、「黒部市行政改革実行計画（アクションプラン）」（以下、「アクションプラン」という。）の取組みを補強し、その改革の実行性を担保するとともに、平成 20 年度からスタートする第 1 次黒部市総合振興計画が目指す新たなまちづくりに向けて、財政基盤の強化や財政収支の均衡を図るための取組方針を示すものである。

なお、総合振興計画の実施段階では、アクションプランの取組状況を検証しながら、健全化目標の設定について、必要に応じ見直していくものとする。

第 2 アクションプランとの関係

アクションプランの「 51 財政健全化プランの作成」において、「行革大綱に基づく取組みが財政面で果たす効果を見通すとともに、将来への負担も配慮し、健全財政を確保していくための目安となる財政指標を設定し、計画的な財政運営を行う」としているが、本プランはこれを具体化するものである。

第 3 財政健全化の基本方針

財政健全化については、社会経済情勢を踏まえつつ、「第 1 次黒部市総合振興計画」の着実な実行と将来に向けた新たな行政需要に的確に対応していくため、財政基盤の強化を図ることを目的として、次の基本方針で推進するものとする。

1 「自立」した財政運営

自らの意思で配分できる市税収入等の自主財源を充実確保するとともに、客観的な評価に基づく事務事業の整理合理化による経費の縮減と施策の厳選など、歳入歳出両面における取組みを推進し、自らの判断と財源で、行政サービスや地域づくりに効果的に施策を推進できるよう「自立」した財政運営を目指す。

2 「安定」した財政運営

長期的な視点に立ち、将来にわたって固定的に発生する負担等を考慮に入れ、市債、債務負担行為を抑制することにより、財政の硬直化を防ぎ、次の世代に対する責任を果たす。また、中期的には、実質公債費比率など財政指標の適正化を図り、財政規律を保ちつつ、計画的で「安定」した財政運営を目指す。

3 「わかりやすい」財政運営

市民への説明責任を果たし、市政に対する理解を深めるとともに、市民と行政の信頼関係に基づく協働の意識高揚を図るため、あらゆる機会を捉え、財政情報を公表するなど、財政運営の透明性を高め「わかりやすい」財政運営を目指す。

第4 推進項目と数値目標

1 「自立」した財政運営

(1)市税収入の確保

【取組項目】 市税収納率の向上
市税の適正課税

【数値目標】 市税収納率の向上に努める。(H18:99.2%)

固定資産(土地)税の課税見直し額(現況課税)6百万円

【財政効果】

H18	H19	H20	H21
40百万円	40百万円	60百万円	60百万円

H18	H19	H20	H21
-	6百万円	6百万円	6百万円

(2)受益者負担の適正化

【取組項目】 公共料金の見直し

(3)新たな収入の確保

【取組項目】 広告料収入の導入
公共施設職員駐車場の有料化
資産の有効活用

【数値目標】 12,000円/年×170区画(黒部庁舎、宇奈月庁舎)

未利用地について、計画的に150百万円程度の売却を進める。

【財政効果】

H18	H19	H20	H21
2百万円	2百万円	2百万円	2百万円

H18	H19	H20	H21
60百万円	150百万円	150百万円	150百万円

(4)人件費の抑制

【取組項目】 定員管理の適正化
給与の適正化

【数値目標】 平成17年4月1日の職員数492人を、平成22年4月1日までに29人以上純減させ、463人以下とする。

時間外勤務手当を総額ベースで5百万円削減する。

【財政効果】

H18	H19	H20	H21	H22
80百万円	160百万円	184百万円	296百万円	296百万円

H18	H19	H20	H21
-	5百万円	8百万円	8百万円

(5)扶助費の抑制

【取組項目】 扶助費の見直し

(6)物件費の縮減

【取組項目】 事務事業の見直し
補助金の削減
特別会計の健全化
公共施設の適正配置
外郭団体の健全化
民間活力の導入

(7)投資的経費の厳選

【取組項目】 投資的経費の厳選
公共工事のコスト縮減

2 「安定」した財政運営

(1)市債発行の抑制

【取組項目】 起債事業の厳選

【数値目標】 平成21年度末までに、起債残高を概ね230億円台前半とする。

(2)債務負担行為設定の抑制

【取組項目】 債務負担行為事業の厳選

(3)実質公債費比率の低減

【取組項目】 実質公債費比率の低減

【数値目標】 平成27年度末までに、実質公債費比率を18%未満とする。

3 「わかりやすい」財政運営

(1)財政情報の公表

【取組項目】 「黒部市の財政状況」を作成し、ホームページ等で公表する。

(2)新たな財務諸表の作成

【取組項目】 行政コスト計算書を作成し、ホームページ等で公表する。
連結貸借対照表を作成し、ホームページ等で公表する。
外郭団体の事業計画や財務状況の自主的な公開に努める。